

# 堺市二次医療圏における 依存症対策の今後の取組み

令和元年11月21日

大阪府堺市保健医療協議会

精神医療部会

# 依存症関係の法整備等年表

	アルコール	薬物	ギャンブル等
平成24年	(国) 依存症者に対する医療及びその回復支援に関する検討会		
平成25年			
平成26年	6月 アルコール健康障害 対策基本法施行		
平成27年			
平成28年	5月 (国)アルコール健康障害 対策推進基本計画	薬物使用の罪を犯した者に対する刑 の一部の執行猶予に関する法律施行	
		再犯の防止等の推進に関する 法律施行	特定複合観光施設区域の整備の 推進に関する法律(IR推進法)施行
平成29年	6月 (国) 依存症対策総合支援事業の実施		
	9月 (府) アルコール健康障がい対策推進計画	(国)再犯防止推進計画	
平成30年	1月	(市) 依存症専門医療機関(金岡中央病院:アルコール)選定	
	3月	(市) 依存症治療拠点機関(大阪精神医療センター:3依存)選定	
	4月	(市) 依存症相談拠点(こころの健康センター:3依存)設置	特定複合観光施設区域整備法(IR実施法)成立
			ギャンブル等依存症対策基本法 施行
令和元年	4月 (市)健康増進計画(第2次:後期計画) 《アルコール健康障害の予防》		(国)ギャンブル等依存症対策推進基本計画
		(市)第4次地域福祉計画《再犯防止推進計画》	(府)ギャンブル等依存症対策推進計画策定

# 依存症に関する堺市の動き

昭和48年

- 鳳保健所にて断酒例会開催

昭和49年

- 各保健所に精神保健福祉相談員を配置し「アルコール依存症」の相談開始

昭和52年

- 断酒会元旦新年互礼会を保健所にて開催

平成14年

- 健康増進計画(健康さかい21)の策定(アルコールを含む)

平成20年

- こころの健康センターにおいて「薬物依存症」専門相談等を開始

平成29年

- 依存症専門医療機関(金岡中央病院)、依存症治療拠点(大阪精神医療センター)を選定

平成30年

- こころの健康センターにおいて「ギャンブル等依存症」専門相談等を開始
- こころの健康センターを3依存に対応する「依存症相談拠点」とする

# ゲーム障害について

○睡眠や学業など日常生活への影響があると指摘されていることから、令和元年5月に「ゲーム障害」が世界保健機関(WHO)の国際疾病分類に位置づけられた。

○今後、国による実態調査の結果を踏まえ、既存の依存症対策に「ゲーム」が加わり、相談、回復支援、市民や関係者への啓発、予防対策を講じていかなければならない。

## 今後の対応

- ・ 相談窓口設置に向けた準備
  - ➡ゲーム障害に関する知識や援助技能の習得、資質向上
- ・ 市民に向けた啓発活動 等

# 堺市における依存症支援・社会資源状況

## 相談延件数(保健センター・こころの健康センター)

種別	平成28年度	平成29年度	平成30年度
アルコール	2,042	2,777	2,292
薬物	1,448	1,271	891
ギャンブル等	18	54	455

## 社会資源

種別	相談機関	依存症回復支援	専門医療機関	民間自助団体
アルコール	保健センター	こころの健康センター	金岡中央病院	堺市断酒会(当事者・家族) AA(当事者)
薬物	こころの健康センター		—	NA(当事者)
ギャンブル等	こころの健康センター		—	GA(当事者) ギャマノン(家族)

# 検討すべき課題

検討課題	現状	めざすべき方向性
専門医療機関が少ない	市内1か所 (アルコールのみ)	市内に薬物およびギャンブル等の専門医療機関も選定
民間自助団体の活動場所	薬物依存症の家族会の活動場所が堺市内にない	全ての依存症の民間自助団体(当事者会・家族会)の活動場所を市内に誘致
依存症の知識、正しい理解	偏見等による未受診が多い	病気である認識を深め、早期介入・早期治療



# 依存症対策の今後の方向性

ゲーム障害をはじめ、  
今後の新たな依存  
症対策にも対応でき  
る仕組みづくり

相談へ繋がりがやすく  
なるよう市域の情報  
を集約し、環境を計  
画的に整備

依存症に対する偏見  
を無くし、誰もが安心  
して暮らす地域づくり  
をめざす

本人及び家族への  
啓発活動を充実させ、  
依存症の予防や重  
篤化を防ぐ

誰もが多様な支援を  
選択できるように、  
医療、相談、自助団  
体を充実させる